



学校だより

平成30年12月25日

横浜市立高田中学校

1月号(第30-10号) TEL: 591-4183 校長 福田 之男

学校運営協議会

11月16日(金)に今年度3回目の学校運営協議会が高田小学校で開催されました。当日は、①会場校校長あいさつ、②授業参観、③協議、④質疑応答・意見交換、⑤事務連絡、という流れで実施されました。協議は、高田小学校の取組について、併設型小・中学校の研究経過、学校運営協議会の運営について、全国学力・学習状況調査の結果について、という内容で行われました。

併設型小・中学校の研究経過の報告では、昨年度策定した「9年間で育てる子ども像」にもとづいたカリキュラムマネジメントを進めており、具体的には「高田中ブロック 育てる資質・能力」に沿って各校の教育活動を見直していることなどが報告されました。

全国学力・学習状況調査の結果についての報告の後、高田中学校より、高田中学生徒に関する平成29年度横浜市学力・学習状況調査における生活意識の分析報告がありました。報告の内容は以下のとおりです。

- ① 「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答する生徒が全体の約3分の2になっている。また経年の分析をすると、この項目について、「そう思う」と回答する生徒の割合が増加しており、本校の教育活動を通して生徒たちの自尊心が高まっていることが分かる。また「将来の夢や目標をもっていますか」「誰かの役に立つ人になりたいと思いますか」の項目についても、市全体平均より上回っており、生徒が自己実現に向けて意欲的な様子や、社会に貢献しようとする意識が高い様子がうかがえる。
- ② 「まちな行事に参加していますか」の項目については、「そう思う」と回答する生徒が全体の15%にとどまっている。「あいさつを自分からしていますか」の項目についても市全体平均より下回っている。生徒の社会参画の意識の醸成が課題として考えられるので、高田の子が、他者と協働しながらより良い社会をめざすことを実感できるよう教育活動を工夫していく必要がある。
- ③ 「授業では、自分の考えを発表していますか」の項目について、市全体平均より下回っている。研究テーマとして「豊かな表現力の育成」を設定し「高田の時間」の取組で、変化の兆候を見せているが、授業・行事・日常の学校生活の中で生徒が自分の考えを他者に伝え、認められる場面をさらに積極

的に設定する必要がある。また、「勉強が好きですか」の項目については、「好き」「どちらかといえば、好き」と回答するのが、全生徒の34%にとどまり、「自ら学力の向上に努め、自立的に学び続けていく力」を身につけさせるために日々の授業改善が課題として挙げられる。

その他の協議では、見学した小学校の授業についての感想や、学校・地域コーディネーターと学校運営協議会との関係を整理する必要がある、地域のニーズを学校運営協議会が把握する必要がある、などの意見が出されました。次回の学校運営協議会は、2月15日（金）に高田中学校で開催される予定です。

パラリンピアン講演会

11月27日（火）6校時に「オリンピック・パラリンピアンによる学校訪問事業」として、パラリンピック 車いすテニス競技で活躍されている齋田悟司様が全校生徒に講演をしてくださいました。齋田選手は1996年からパラリンピックに6大会連続で出場され、2016年リオデジャネイロパラリンピックではダブルスで銅メダルを獲得された選手です。



練習の様子やパラリンピック出場の実際の映像などを交えた約30分間の講話に生徒は釘付けでした。なかでも齋田選手の次の言葉に生徒は勇気づけられました。『夢・目標を持ち（齋田選手の場合は「パラリンピックに出たい」というもの）、実現のための計画を立て、軸をぶらさず平凡な努力を重ねること。この積み重ねがいつの間にかすごいことができるようになることにつながる』

2年後の東京パラリンピック出場に向け齋田選手は今日も練習をされています。齋田選手の東京パラリンピック出場を高田中一同心から応援したいと思います。齋田選手、どうもありがとうございました。

(生徒からの質問と齋田選手からの回答)

- ・パラリンピックの様々な競技の中でなぜテニスだったのか？
→初めは車いすバスケットを選んだがテニスの楽しさを知る機会があったら友達の影響もあり最終的にテニスに。今はテニスが大好きです。
- ・一番きつかった練習は？
→インターバルトレーニング（100M ダッシュ、10数秒休む、の繰り返し）
- ・テニスをやっていて楽しいことは？
→苦勞した分、大きな喜びを感じる時
- ・私はバドミントンをやっているがやってもうまくいかないときどうしたらいい

いか？

→練習を一生懸命やると試合で結果を出せないことがある。そんなときは一つひとつ目の前のことに集中する。先を考えないで。

(生徒からの感想)

・夢を持つこと、夢に向かって努力することの大切さを改めて学ぶことができました。齋田選手、どうもありがとうございました。

(福祉委員会委員長 佐藤こころさん)

- ・今日のお話は貴重なことだから意識していきたい。
- ・とても奥深く聞き入ってしまいました。
- ・私も「大きな夢」がほしいです。
- ・平凡な努力が大事なんだということを学べた。
- ・心が傷ついた状況から、世界で輝くプレーヤーになるのが本当にすごいと感じました。

第1学年 職業講話（社会人講師による授業）

去る11月20日（火）午後、「働く人と接し、話を聞くことを通して働くことの大切さやその意義について理解を深めるきっかけとする。」「将来の生き方や職業選択へと目を向け、来年度の職業体験、その後の進路学習へと結びつける。」ことをねらいに、地域より6名の社会人講師の方を高田中学校に招いて、職業講話が実施されました。

講師の6名の方々は、おやおやの会で日頃よりお世話になっている三村百宏様（建設業）、中村竹志様（出版業）をはじめ、職場体験でもお世話になっている学校薬剤師の田中利幸様、本校個別支援学級担当でもある介護福祉士の檜原淳教諭、本年度より高田消防出張所に、所長として赴任された坂詰武彦様（消防士）、本校では初めての「博物館学芸員」小林紀子様（横浜市歴史博物館）で、生徒たちはそれぞれ、「薬剤師」「介護福祉士」「出版業」「消防士」「建設業」「博物館学芸員」の6つのコースから、2つのコースを選び、講話を聞きました。

後日、各講師の方からいただいたアンケートからは、生徒たちの真剣に話を聞



建設業



出版業

く様子や積極的に質問する様子が伺え、やはり「現場の声」を聞くこと、自分の仕事に誇りを持って、日々努力を積み重ねている大人の姿に直にふれることの大切さを改めて確認しました。ご多用の中、生徒のために時間を割いていただき、本当にありがとうございました。心より、感謝申し上げます。



介護福祉士



消防士



博物館学芸員



薬剤師

校内をクリスマス色に染めていただきました。

「花と緑の会」のみなさまいつもどうもありがとうございます。



会議室前ホール



高田園